年度 2008 学期 後期	曜日・校時 火 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 IV German IV		
対象年次 2 年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 2K25/26	科目分類 外国語科目(ドイツ語)		

担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー

葉柳和則 / hayanagi@net.nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部本館 4F 南側中央 / 819-2739 / 金曜日 14:30-16:00

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

授業のねらい:
初級文法の知識を発展させて、日常生活レベルのリーディング、ヒアリング、スピーキングができるようにする。

授業方法:
教科書と付属の CD を利用して、情報の受容と発信に重点を置いて練習する。
そのための土台として基本的な文法事項を応用練習の中で再確認する。

授業到達目標:
ドイツ語検定 4 級に確実に合格できるようになる。ドイツ語検定 3 級の問題を 60%程度解答できるようになる。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)

＜予習＞CD の聞き取り→＜講義＞聞き取りの確認・文法事項の確認・会話＆読解練習→＜復習＞文法＆作文練習
このサイクルを繰り返すことで、上記目標の達成を図る。

第１回　オリエンテーション：聞き取りのコツ
第２回　交通機関の利用 1（前置詞の応用）
第３回　交通機関の利用 2（zu 不定詞の応用）
第４回　日常の議論 1（決まった言い回し）
第５回　日常の議論 2（配語法）
第６回　円滑なコミュニケーション 1（簡単で効果的な言い回し）
第７回　円滑なコミュニケーション 2（便利な副詞（句））
第８回　相手に対する配慮 1（立場を意識した言い回し）
第９回　相手に対する配慮 2（関係代名詞）
第 10 回　様々な意思表示 1（過去分詞の応用）
第 11 回　様々な意思表示 2（接続法 1 式）
第 12 回　精密な議論 1（接続法 2 式）
第 13 回　精密な議論 2（フレーズのストック）
第 14 回　会話練習、読解練習
第 15 回　総括

キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定
教科書・教材・参考書	＜教科書＞ 大谷弘道:『ドイツ人を知る 9 章+1』 三修社 上に加えて一年生の時に使った教科書を毎回持参すること。
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況(30%) 講義中の取り組み方(30%) 定期試験(40%)
受講要件(履修条件)	ドイツ語の初級文法の知識を有していること
本科目の位置づけ/学習・教育目標	初習外国語によるコミュニケーション力の育成
備考(準備学習等)	指示した課題をこなしたうえで講義に臨むこと。